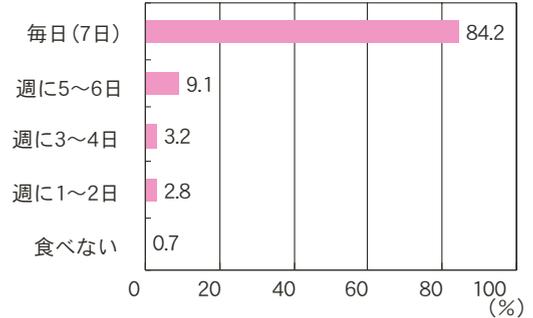


<中学2年生の朝食>

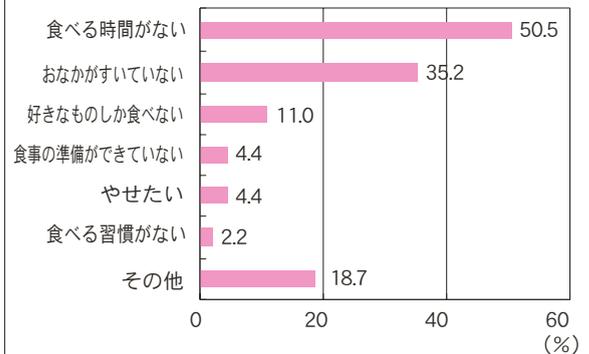
朝食を週何日食べるか

(有効回答数:683人)



朝食を食べない理由

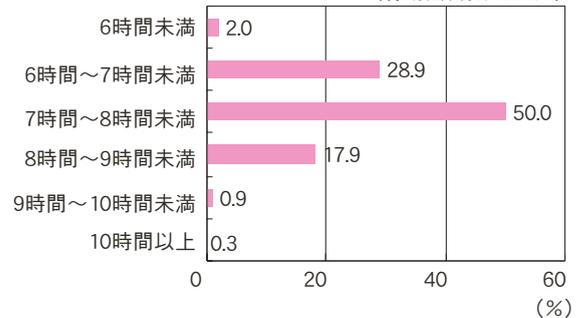
(有効回答数:91人・複数回答)



<中学2年生の睡眠>

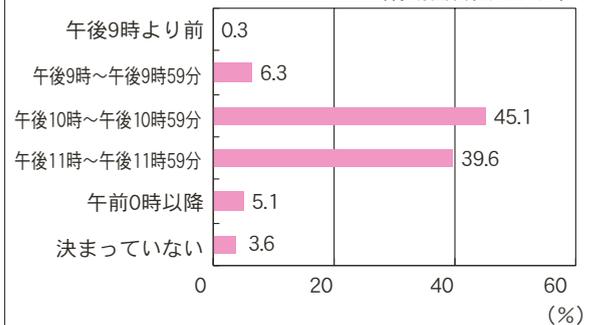
睡眠時間はどれくらいか

(有効回答数:686人)



夜は何時ごろ寝るか

(有効回答数:687人)



子どもの生活状況実態調査(岡山県PTA連合会と岡山県教育委員会が県下、中学2年生の保護者1403人に對して、平成18年9月15日~10月16日に行った調査)

西井 共働きのため、夕食の食べ始めは夜8時ごろになり、決して早いとはいえません。ただ、昔とは生活パターンも変わってきています。わが家では、夕食時にはテレビを付けない、朝食のときはNHKニュースを付けるというルールにしています。その家庭で決まったルール、生活のリズムが決まっていればよいのではないのでしょうか。

黒川 私の家では台所にテレビは置いていません。朝は当然見ませんし、夜もテレビを見るの

常浦 携帯電話の所持について

は1時間くらいにしています。

嶋田 中学生を取り巻く環境は私たちのころとはずいぶん変わってきていますし、思春期で難しい年ごろです。うちでは父親は進路面などの相談、母親は気持ちの面を支えるといった感じで、役割分担しながら子育てしています。

携帯電話(インターネット)の使用について

は、学校の先生の中でも意思統一ができていないように感じられます。一応は禁止になつていても、それなりに理由があつて周りに迷惑をかけなければ許可されているとも聞きます。

市長 中学生に携帯電話を持たせる理由はどういったものなのでしょうか。小学生は安全のため、中学生は塾通いのためといった理由をよく聞きますが、個人的には学校生活、特に校舎内では必要ないと思っています。

黒川 携帯電話を持たせる親は、それなりのリスクも覚悟しているはずだと思います。

西井 子どもに携帯電話を持たせるときは、フィルタリング(有害サイト制限サービス)をかけることで、チャット(インターネット)上でおしゃべりすることのできるシステムや出会い系サイトなどへのアクセスの危険性がある程度回避できますが、そのことさえ知らない親もいます。親がきちんと情報を持って、怖さを知る必要があるのではないのでしょうか。文



親子一緒に校内清掃を行いました(高梁中学校)

部科学省も「携帯電話の学校持ち込み原則禁止」の方針を打ち出しましたが、どの程度の抑止力があるのでしょうか。学校には携帯電話は必要ないと思います。

小山 私も賛成ですね。迎えるための電話といつても、学校の電話を借りれば済むことだと思いますし、塾にも電話くらいはあるのでは。

江草 携帯電話（インターネット）の利用が多くなり、他校ではメールでのいじめもあつたと聞きました。見えないところでいじめも問題になってきています。

常浦 高梁中学校でPTAが行

ったアンケートでは、携帯電話を持つていない子どもにその理由を聞きましたが、「高校に入ったら買ってもらえと思う」「インターネットは家でできるから」など、中学生の時期には必要ないと思つている子どもたちもいるようです。

黒川 携帯電話はゲームを持つと同じ感覚なのは。ゲーム機と同じで、日々の生活になくて困るものではないと思います。

小見山 結局、持たせるか持たせないかは親の考えなのは。

芳賀 携帯電話やメールの利用が多くなつていますが、家族との会話、人との対話が大切であり、地域での声かけも重要、だと思つています。

学力の向上について

小山 テレビで見た話ですが、これからは「学校力」が大切になつてくると思います。東京のある中学校では「サタデースクール」といって、近所の高校生

がボランティアで中学生に勉強を教え、保護者はそのお礼として高校生に昼食を用意しているそうです。週休2日制になって土曜日の活用もさまざまになっていきます。高梁市には大学があることだし、土曜日を活用して大学生に勉強を教えてもらつたらどうでしょうか。お兄さん、お姉さんのな人に勉強を教えてもらうというのは、子どもたちにとつてもよいことだと思えます。

小見山 荒れていた学校が成績優秀校になつたといつたことも、その番組で紹介されたようですが。

小山 荒れていた中学校に赴任した校長先生が率先して、生徒に接する態度を変えていったそうです。よく「おい、○○」と生徒を呼び捨てで注意することがありますが、その学校では「○○さん」「○○君」と丁寧に呼びかけ、先生が同じ目線で子どもと話をしました。そうした地道な取り組みで、荒れていた学校が数年後には落ち着いたそう

です。

江草 備中学校などの小規模校では子ども同士とても仲がよいのですが、学力面から言えば、少人数ということで競争心に欠けるのではないかと少し不安があります。

木口 小規模校では学力面以外にも、部活動の種類が限られてくるといったマイナス面も出てきています。中学校の統合も考える時期にきているのではないのでしょうか。地域の要望で、統廃合の話が進まないことが多いですが、現状を考えて子どもにとつて何が本当に大切なのか。PTAとしては、次世代のために考えを申し送りしていかねければならないと思います。

地域で支える学校

野口 高梁中学校では、親として何ができるかを考えた結果、学校の後方支援という意味で「おふくろ・おやじの会」をPTAが中心となつて立ち上げました。12月に初めての行事とし